海洋土木工学プログラム

1. 教 育 目 標

本プログラムで育成しようとする技術者像

海洋土木工学プログラムは、土木工学に海洋学が加わった学際的な工学の一分野である“海洋土木工学”を取り扱っている。そこで、本プログラムでは、海洋学と土木工学に関する専門教育を行い、海洋に関する深い理解、土木工学の知識と判断力および高い倫理観を有する技術者を育成することを目的としている。そのために、海洋土木工学分野における技術者に対する社会の要求や学生の要望に配慮した上で、本プログラムにおけるこれまでの伝統や本プログラムが持つ教育資源を考慮し、下記の８つの能力を持つ自立した技術者を育てることを目標としている。

［1］ 人類の幸福と福祉について考えることのできる能力
［2］ エネルギーと環境、人間と社会の持続的な調和を考えることのできる能力
［3］ 地域社会及び国際社会においてコミュニケーションができる能力
［4］ 数学や自然科学の基礎と工学基礎に関する知識を活用できる能力
［5］ 土木工学の基礎知識を工学的デザインに活かし、持続的な社会の発展に貢献できる能力
［6］ 海洋環境の開発と保全について総合的判断ができる能力
［7］ チームによる調査・討論・発表などを通じて、地域社会の課題を自主的に発見し、それを分析・解決できる能力
［8］ 卒業後も主体的に学習を継続できる能力

※本プログラムの学位授与の方針（ディプロマポリシー）に対応。

学習・教育到達目標

本プログラムでは、育成しようとする自立した技術者が身につけておくべき知識・能力を養成するため、以下に示す８つの学習・教育到達目標を設けています。

［A］ 人類の幸福と福祉について考えることのできる能力の養成
【人類の幸福と福祉】
［B］ エネルギーと環境、人間と社会の持続的な調和を考えることのできる能力の養成
【持続的発展と調和】
［C］ 地域社会および国際社会においてコミュニケーションができる能力の養成
【コミュニケーション能力】
［D］ 数学や自然科学の基礎と工学基礎に関する知識を活用できる能力の養成
【基礎学力】
［E］ 土木工学の基礎知識を工学的デザインに活かし、持続的な社会の発展に貢献できる能力の養成
【専門学力】
［F］ 海洋環境の開発と保全について総合的判断ができる能力の養成
【海洋環境の開発と保全】
［G］ チームによる調査・討論・発表などを通じて、地域社会の課題を自主的に発見し、それを分析・解決できる能力の養成
【自主的な解決能力】
［H］ 卒業後も主体的に学習を継続できる能力の養成
【継続的な学習能力】